

たとえば! **AMRで変わる私たちの生活**

近くに買い物できるお店がない!



たとえば!
AMRが路線バスと
連結、お店から遠い
場所にも配達!

米や水、重たいものを持ち帰るのは...



たとえば!
商品は直接見たい!
購入した商品は預け
て、帰りは手ぶら!

子どもを連れての買い物が面倒!



たとえば!
保育所に配達された
商品をお迎えと同時
にピックアップ!

帰宅時間が遅くて食料品が買えない!



たとえば!
勤務先で注文した商品
を高速バスの降り
口で受け取れる!

いろいろなお店に立ち寄るのはしんどい!



たとえば!
商品を各専門店から
AMRが集配して
自宅に配達!

各家庭に配達するスタッフが足りなくて...

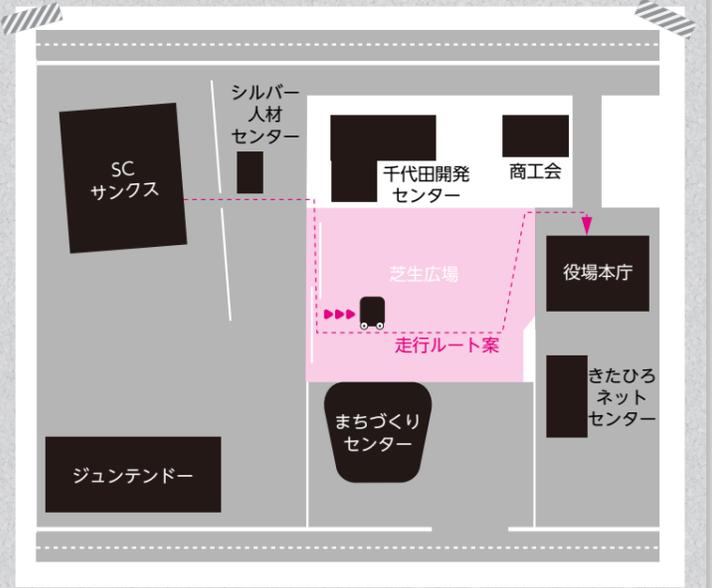


たとえば!
荷物の配達にAMR
で!置き配*と組み
合わせて配達効率↑

ぼくが自動運転で荷物を運びます!
高さは大人の腰くらいで、
人が歩くくらいの速度で進みます。
安全第一でお届けしますね!



実証実験の走行ルート案



*開発中のAMRのデザイン・走行ルートは変更となる場合があります。

みんなで考えよう!
北広島町の未来のカタチ

AMR 実証実験編

昨年11月の広報きたひろしまで紹介した「北広島町の未来のカタチ」。現在、北広島町では、「ひろしまサンドボックス事業」などを活用して、さまざま民間企業と協働しながら事業を進めています。まずは「自動配送ロボット」の実証実験がこの秋スタートします!



北広島町の未来のカタチ
問 総務課 DX チーム
IP ☎ 050-5812-1850

北広島町では、昨年4月に北広島DXチームを立ち上げ、デジタル技術を活用して、地域の課題を解決し、私たちの生活を豊かにするための取組を進めています。今年5月には「デジタル町民ファースト」を宣言し、広報きたひろしま7月号で紹介した「8つの挑戦」を進めるとともに、町民の生活をデジタル技術を使って豊かにする「暮らしDX」にも取り組んでいます。

買物は生活するうえで欠かせないものです。「買い物に行く時間がない」「交通手段がない」「重い買利物袋を持ち帰るのが大変」。みなさんは、日用品や食料品の買い物に困っていませんか。その困りごとを解決するかもしれない「AMR(自動配送ロボット)」の実証実験を、9月下旬に役場本庁周辺とショッピングセンターサンクスをフィールドとして実施します。

さらさらく買い物の未来?

今回の実証実験は、広島県の「ひろしまサンドボックス事業」の「DIGGS PROJECT」で採択されたもので、下の図のように、あらかじめネット注文した日用品をフレスタ(サンクス店)に届け、フレスタで販売する食料品をAMRが混載して、自動走行で役場本庁まで輸送します。

将来、北広島町のような中山間地域では、配送拠点からそれぞれの家に荷物を届けることが困難になる(ラストマイル問題)可能性があります。

北広島町が全国の中山間地域の先駆けとなり、この問題を解決し得るAMRの実証実験に取り組むことで、私たちの暮らしがもっと便利になり、日本中の物流が変わるかもしれません。「北広島町の未来のカタチ」に描かれた未来が少しずつ近づいています。



左から YPER(株)の内山代表取締役、箕野町長、(株)コムズ重村取締役副社長

今回の実証実験は、広島県の「ひろしまサンドボックス事業」の「DIGGS PROJECT」で採択されたもので、下の図のように、あらかじめネット注文した日用品をフレスタ(サンクス店)に届け、フレスタで販売する食料品をAMRが混載して、自動走行で役場本庁まで輸送します。

実証実験を行うにあたり、6月28日(日)、町長室に、AMRを開発する東京都のITベンチャー企業、Y・P・E・R(株)と、実証フィールド

どんな実証実験をするの?

Interview



代表取締役 Y・P・E・R(株) 内山智晴さん

私たちの会社では、これまで置き配バッグ™「OKIPPA」の提供を通じて、再配達率の圧縮に取り組んできました。AMRの開発は新たなチャレンジです。今日初めて北広島町を訪問し、地域の課題と期待感を肌で感じています。今回は、私有地・町有地での実証実験となりますが、この10月には道路交通法も改正され、AMRが公道を走れるようになります。いよいよ事業化のフェーズです。地域の課題解決への期待に応えられるよう、機体の作り込みを進めたいですね。採算性についても、北広島町のみなさんにしっかりインタビューをして、社会実装を目指して取り組みます。

*配達員が荷物を手渡しせず、指定された場所に荷物を置く、非対面・非接触の配達サービス

実証実験の概要

